

会 議 録

会議の名称		令和6年度第1回学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議			
開催日時		令和6年5月15日（水）開会 9:30 閉会 11:30			
開催場所		つくば市立学園の森義務教育学校メディア室			
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課			
出席者	委員	高野二男 山崎裕一 石橋紀世 内藤 実 富江 晃 樋口直宏 野堀 憲 村上義孝 石黒正美 谷上智子 学園の森義務教育学校 校長：中野真粧美 副校長：澤木 努 教頭：池邊晃子、中原正人 教務主任：田村俊介、牧之段 拓			
	その他				
	事務局	教育局教育総務課課長：山岡めぐみ 生涯学習推進課課長補佐：瓜阪恵理名 社会教育主事：村上和宏 地域連携教育指導員：酒井和宏			
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0 人	
非公開の場合はその理由					
議題		1 学校運営の基本方針について 2 学校の教育活動の紹介 3 熟議「互いを大切にした主体的で創造性のある学校づくり」 4 その他			
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日	
会議次第	1 開会 2 選任通知書交付 3 教育長挨拶 4 説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて 5 座長・副座長の選出				

6	協議
(1)	学校運営の基本方針について
(2)	学校の教育活動の紹介
(3)	熟議「互いを大切にした主体的で創造性のある学校づくり」
(4)	その他
7	閉会

<審議内容> 1 開会 事務局：ただ今から、令和6年度第1回学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議を開会いたします。 はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。事務局案としてつくば市立学園の森義務教育学校牧之段先生にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。 参加委員：お願いします。 事務局：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくお願いします。 2 選任通知書交付 事務局：始めに「選任通知書」の交付をいたします。通知書の交付は五十音順で代表者1名とさせていただきます。 （「選任通知書」を石黒委員に交付） 続きまして、地域学校協働活動推進員の御紹介と委嘱状の交付を行わせていただきます。 学園の森義務教育学校で、学校と地域をつなぐパイプ役となる地域学校協働活動推進員を協議した際、地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者として富江委員を学園の森義務教育学校から御推薦いただきました。地域学校協働活動推進員設置要項第3条に該当するものとして、「地域学校協働活動推進員」を委嘱させていただきたいと思います。 （富江委員がこの時点では不在であった為、「委嘱状」は閉会間際に交付） この推進会議は、協議会を設置するまでのおおむね1年間を予定しています。また、皆様の選任通知書については、机の上にございますので御確認ください。委員の皆様の自己紹介に関しては、この後お時間を取らせていただいております。御了承ください 3 教育長挨拶 事務局：続きまして、つくば市教育長森田から挨拶を預かっておりますので、教育総務課、山岡が代読いたします。 事務局：森田教育長の挨拶を代読させていただきます。 皆さんこんにちは。教育長の森田でございます。本日はお忙しい中、第1回学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議に参加していただきありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては当推進会議の委員を	
---	--

快くお引き受け頂き、深く御礼申し上げます。

さて、近年の急激な社会の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化している状況があり、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。皆様にお配りしたつくば市教育大綱においても、「保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体でこどもの育ちの場を支える。」ことが、いま必要なこととされています。

こうした背景を踏まえ、つくば市では、「コミュニティ・スクール」を導入していくこととしました。「コミュニティ・スクール」は、学校と地域、保護者がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映することで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みです。また、学校を核とした交流を通して、地域の活性化を期待することもできます。

つくば市では、令和4年度に吾妻学園をモデル地域として先行的にコミュニティ・スクールを導入し、昨年度は8学園、今年度は新たに6学園で導入する計画です。その中で見えてきた課題としては、この仕組みをいかに地域に周知し、市民の方々の理解を得ていくかにあると思っています。そのため、教育局では、出前講座のメニューを新設するなど、「コミュニティ・スクール」の周知に努めているところです。

学園の森義務教育学校においては、本年度よりコミュニティ・スクールの導入が始まります。皆様には、それぞれの立場から、子どもたちの未来のために何ができるか、意見を出し合っていただければと考えています。つくば市の教育のさらなる充実に向け、どうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

4 説明事項

事務局：社会教育主事の村上より「つくば市コミュニティ・スクールについて御説明させていただきます。

事務局：生涯学習推進課社会教育主事村上と申します。よろしくお願いいたします。わたくしのほうからは、

- 1 つくば市の教育が目指すもの
- 2 コミュニティ・スクールとは
- 3 つくば市で進めるコミュニティ・スクールとは

についてご説明いたします。

まず、つくば市の教育が目指すものについて御説明いたします

配布されている教育大綱の冊子を手にとっていただき、1ページをお開きください。つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を送る、ことを最上位の目標に設定しています。次に7ページをお開きください。いま必要なことの中に、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子どもたちの育ちの場を支えることを位置づけています。

教育大綱に基づいたコミュニティ・スクールの導入をすることにより、今後地域の多くの人々が学校づくりに参画し、地域と一体となり、地域とともにある学校づくりを進めて行きたいと考えています。つくば市の学校教育を所管して

いる学び推進課からは、「学び推進方針」を学校に示しています。みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園にするために、今年度特に意識していることは、子どもたちの「自己決定」ができる環境を整えていくことです。また、学び推進課では「伴走から自走というスローガン」のもと、各学校が生き生きと自走していけるように日々関わっています。

続いて、コミュニティ・スクールについて御説明いたします。具体的にコミュニティ・スクールとはどのようなものを御説明いたします。コミュニティ・スクールとは、一言で言いますと地域とともに子どもを育む学校と言えます。コミュニティ・スクールのコミュニティは地域住民・保護者・学校であり、それらが、力を合わせて子どもたちの成長を支えていく学校のことをコミュニティ・スクールと呼んでいます。もっと踏み込んだ話をさせていただきますと、つくば市ではコミュニティ・スクール協議会という話し合いの場を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼んでいます。

学園の森義務教育学校は今年度、コミュニティ・スクール推進会議といって準備段階の会議を実施することになっています。来年度は協議会という、法に位置付けられたコミュニティ・スクールの本格設置となります。

スライドでお示ししているのが、コミュニティ・スクール協議会の様子です。右上、校長先生が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明をしています。中段、下段の写真、熟議を行っています。

さて、それではなぜコミュニティ・スクールが必要なのでしょうか。

現在、学校では、「いじめ、不登校」、「教員の業務量増加」、地域では、「地域社会における支え合いやつながりの希薄化」など、様々な課題が挙げられます。また、新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有することが大切であると書かれています。これらのことから、学校と地域の課題を解決するために、学校と社会が目標を共有したり、地域と学校が連携して幅広い視点で子どもたちの成長を支えたりする必要があるのです。

それでは、具体的につくば市で進めるコミュニティ・スクールについて御説明いたします。つくば市コミュニティ・スクールには、スライドでお示ししている4つの機能があります。

①の機能として、学校運営の基本方針についての承認があります。学校運営協議会では第1回目に学園長・学校長が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明を行います。

その基本方針に対して委員の皆様から承認を行うことから学校運営協議会がスタートしていきます。ただし、学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

②の機能としては、学校運営に意見を述べるということです。これから始まる学校運営協議会では、皆さんの様々な視点から御意見を頂ければと思っています。

③の機能として教職員の任用について意見を述べるできます。教職員の任用とは、学校とコミュニティ・スクール協議会が実現しようとする教育目

標等に適った人材を求めることです。例えば、学年主任ができるリーダー性のある教員や外国語活動に力を入れたいので、授業力のある教員求めることなどです。

④の機能として学校評価があります。委員の皆様と学校の課題について共有したり学校評価について話し合ったりということをしていきます。現在、学園の森義務教育学校はコミュニティ・スクール推進会議という準備段階の会議となりますが、来年度には協議会という法に基づいた本格設置となります。委員の立場としても特別職の地方公務員となり、スライドにお示ししているような責任のある立場となっていくしますので、御協力をお願いいたします。

先ほど、「熟議」という言葉が出てきましたので、「熟議」について御説明いたします。「熟議」とは、どのような子どもを育てたいのか。何を実現したいのか。という目標・ビジョンを共有するために、「熟慮」と「議論」を重ねることを言います。ひとことで言うと「よくよく、話し合う」ということです。熟議では、テーマに対して、委員それぞれの考えを付箋に記し、模造紙に貼り付けていくというスタイルが多いです。熟議に参加する委員の方が、必ず意見を会議に反映してほしいという意図のもとこのようなスタイルをとっています。

スライドでお示ししているのは、コミュニティ・スクールを自転車に例えたイメージ図です。自転車で例えるならば、協議会で話し合った内容が前輪及びハンドルとなり、「育てたい児童・生徒像」やコミュニティ・スクールの在り方などの方向性を決める役割を担っています。そして後輪には、地域学校協働活動が位置付けられます。地域学校協働活動とは、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことです。コミュニティ・スクールでは、前輪の協議会で方向性が決まったものに対して、それを後押しをするように地域と学校が連携して様々な活動を行っていきます。学校の教育活動に対して地域学校協働活動を進めていくことで、この自転車がスムーズに進むようになります。自転車がスムーズに進むようになるときは、今まで以上に学校と地域が連携し、学校を核とした地域づくりにつながっていくはずです。

地域学校協働活動の例を一つ御紹介いたします。昨年度、吾妻学園では、「ようこそ先輩」という学習において、ゲストティーチャーを地域学校協働活動推進員の方がコーディネートした授業を行いました。このように、地域学校協働活動が活発になると、地域の方々の関わりが、児童生徒の幅広い視野をもつことにつながります。また、地域の方々と関わることで、学校で学んでいることが社会でどのように役立っているかを理解することにもつながります。新しいことをやらなくてもよい運営協議会の中で、何が必要か、何をしていくべきか、地域と学校が熟議し、ともに作り上げていくこと大切です。既存のものをベースに、まずは、「学校理解」「地域理解」から進めていければと思います。

今日お伝えしたいことをまとめます。

①つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を最上位の目標としていること

②コミュニティ・スクールは地域とともに子どもを育てる仕組みであること

- ③つくば市のコミュニティ・スクールには4つの機能・役割があること
- ④熟議を通して皆が共有することが大切であるということ
- ⑤地域と学校が連携した様々な活動 地域学校協働活動が始まることです。

つくばの未来の創り手となる 子どもたちのためにご協力をよろしくお願いいたします。

以上になります。

事務局：ただ今の件につきまして、意見や質問はありますか。（無し）

5 座長・副座長の選出

事務局：協議の前に、座長と副座長の選出を行いたいと思います。選出につきましては、令和6年度つくば市コミュニティ・スクール推進会議開催要項第6条第2項に「座長及び副座長は、構成員の互選によって定める」とあります。本年度については、コミュニティ・スクールを立ち上げていくということもあり、各校と教育局で協議の上、座長、副座長につきまして提案させていただきたいと思います。皆様いかがでしょうか。

事務局としては、村上委員に座長を、石黒委員に副座長お願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

参加委員：（拍手）

6 協議

(1) 学校運営の基本方針について

村上座長：それでは、各学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明及びグランドデザインを受けての特色ある教育活動について、学校より御説明をお願いします。

学園の森義務教育学校長(中野校長)：学園グランドデザイン（学園要覧）の説明

- ・教育目標「自分の可能性に挑戦し、創意をもって未来を切り開く学園生の育成」

- ・「人を大切にして笑顔あふれる学校」にしたいという思い

- ・スクールモットー 挑戦・創造・協働

- ・「挑戦王になる！」挑戦王宣言！→学園生の挑戦王宣言の紹介

- ・挑戦王の内容は全校集会等で紹介、称賛

- ・「校内の笑顔を増やしたい」という気持ち

- ・150名の職員、教員も挑戦王宣言

- ・3つのプロジェクト

→生成AI・探究的な学び、ルールメイキング・特別活動、早寝早起き朝ごはん

- ・体力向上プログラム

- ・（挑戦だけでなく）創造にも力を入れていく係活動、学級活動、委員会活動、つくスタ生活科など

・CS 会議の皆様からの意見を生かしながら「人を大切にして笑顔あふれる学校」にしていきたい

(2) 学校の教育活動の紹介

学園の森義務教育学校（田村教諭）学校の説明

・学園の現状

→開校 7 年目、在籍数は 1797 名 組織目標は 2 つ

①リーディング DX スクール生成 AI パイロット校（全国で 52 校）

生成 AI プロジェクトチームの活動（全職員で）

②係活動の充実、ルールメイキング、ロング昼休みの設定

・学校行事

→入学式を 5 年ぶりに 6 クラス同時実施、授業参観、引き渡し訓練、9 年生修学旅行、運動会、体育祭の実施予定

・義務教育学校のよさを生かして

→6 年生の部活動見学、体験を早い時期から実施

→上級生が下級生への関わり パソコンの使い方、体力テストの計測など

→下級生が上級生への関わり 部活への応援メッセージなど

・地域の方に御協力いただいていること

→職場体験など

村上座長：御説明ありがとうございました。先ほど教育局から説明がありましたように、コミュニティ・スクール協議会の機能の一つに、「校長が作成する学校運営の基本方針の承認」があります。これを踏まえて、この推進会議においても、委員の皆様にご賛同への御賛同をお願いしたいと思います。令和 6 年度学園・各校のグランドデザインに御賛同いただける方は拍手をお願いいたします。

参加委員：（拍手）

村上座長：ありがとうございました。校長先生におかれましては、本内容にて学校運営をお願いいたします。

(3) 熟議

村上座長：続いて、熟議に移りたいと思います。ファシリテーターを池邊教頭先生にお願いして、よろしいでしょうか。

池邊教頭：（承認）

村上座長：お引き受けくださりありがとうございます。では、先生よろしくお願いたします。

池邊教頭：熟議のテーマと進め方の説明 理念を実現するには、職員だけでなく、地域や保護者、専門家のバックアップが必要。熟議の目的は、創造的な係活

動や委員会活動、つくスタやキャリア教育などでどのような体験を仕組んでいくか、こちらがどのようなサポートができるか

- ・各グループでの熟議約 60 分間

村上座長：熱心な御協議ありがとうございました。それでは、各グループで協議されたことの発表をお願いいたします。

Aグループ（発表者：牧之段教諭）

- ・つくばスタイル科における地域リソースの活用
- ・教員の意識改革も必要
- ・協力したいという思いをもっている保護者もいるはず

Bグループ（発表者：田村教諭）

- ・本校の良い点と課題を整理

→良い点：能力、元気、人間性、知的

→課題：基本的習慣（あいさつ）、体験（ゲストティーチャー機会不足）、自己有用感、個人内（能力の二極化、多様性への対応、習い事の多さに伴う余裕の無さ）

Cグループ（発表者：中原教頭）

理想：目指す児童生徒の姿＝笑顔（子供、保護者、教員も）

思い出→行事、遠足、特別な授業、体験的活動

→地域を大切にする、異学年交流

⇒つくスタを発展、探究的な学び（子供たちもいろんな才能がある、失敗も学び）

外部との連携：登下校 何ができるか←学校からの要望があると助かる

Dグループ（発表者：池邊教頭）

- ・みんなを笑顔にする学校
- ・地域のつながり＝子供たちのつながり
- ・地域のメリット 多様性のある子どもが集まっている（国・地域、個性）
- ・地域のつながりが希薄（コロナによる悪影響）
- ・地域でできることはないのか？⇒お祭りなどのイベントの企画
- ・地域のつながりが無いと有事の際に大変になるのではないか

村上座長：ただ今の発表について、御質問や御意見が」あればお願いします。

村上座長：発表者の皆さん、ファシリテーターの池邊先生ありがとうございました。最後に委員のみなさんから何かありますか（無し）

それでは、進行を事務局へお返しいたします。皆様、スムーズな運営に御協力いただきありがとうございました。

参加委員：（拍手）

事務局：村上座長、協議進行、ありがとうございました。本日の会議の内容は以上となります。

なお、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思います。委員の皆様、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。以上をもちまして、令和6年度第1回学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議を閉会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度第1回学園の森義務教育学校

コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和6年 5月15日（水）

9：30～11：30

場所：学園の森義務教育学校 メディア室

次 第

1 開 会

2 選任通知書交付

3 教育長挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクールについて

5 座長・副座長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 学校の教育活動や地域の活動事例の紹介

(3) 熟議 テーマ「互いを大切にした主体的で創意性のある学校づくり」

(4) その他

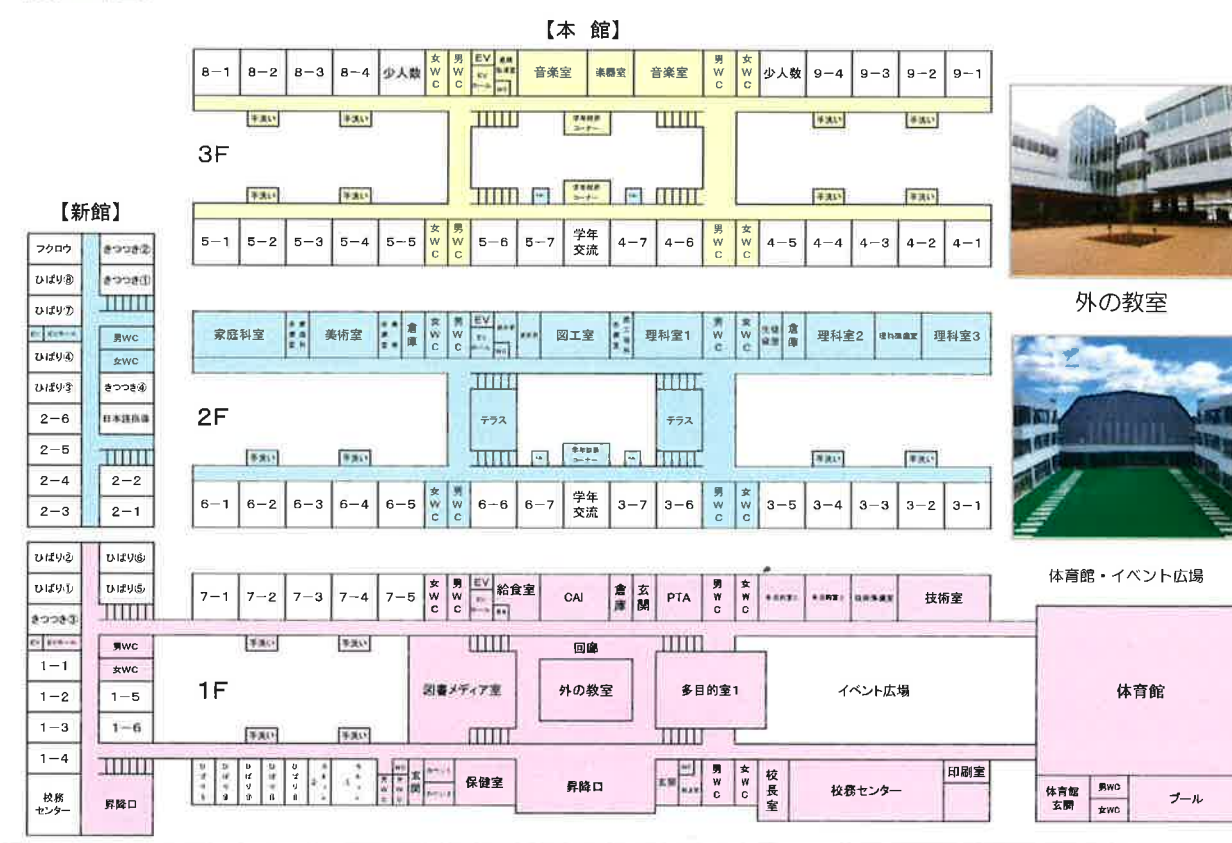
・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

7 閉 会

令和 6 年度 学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議
構成員名簿

番号	委嘱の区分	氏 名	よみがな	所属・役職
1	(1) 地域住民	高野 二男	たかの つぎお	元学校評議員 研究学園地区民生委員
3	(2) 児童・生徒の保護者	山崎 裕一	やまざき ゆういち	P T A 代表
4	(2) 児童・生徒の保護者	石橋 紀世	いしばし のりよ	P T A 副代表
5	(2) 児童・生徒の保護者	内藤 実	ないとう みのる	P T A 副代表
2	(3) 地域学校協働活動推進員	富江 晃	とみえ あきら	元 P T A 副代表
6	(4) 学識経験者	樋口 直宏	ひぐち なおひろ	筑波大学
7	(4) 学識経験者	野堀 憲	のぼり あきら	元 教頭
8	(4) 学識経験者	村上 義孝	むらかみ よしたか	スクールソーシャルワーカー
9	(4) 学識経験者	石黒 正美	いしぐろ まさみ	つくば市総合教育研究所 元 校長
10	(5) 学校長	中野 真粧美	なかの まさみ	学校長
11	(6) 教職員	澤木 努	さわき つとむ	副校長
12	(6) 教職員	池邊 晃子	いけのべ てるこ	教頭
13	(6) 教職員	中原 正人	なかはら まさと	教頭
14	(6) 教職員	田村 俊介	たむら しゅんすけ	教務主任
15	(6) 教職員	牧之段 拓	まきのだん たくみ	教務主任
16	(7) 関係行政機関の職員	谷上 智子	やがみ ともこ	学園の森児童クラブ長

校舎図



5学年親子交流会の様子

学園生数

4月1日現在（人）

学年	男子	女子	合計
1年生	98	86	184
2年生	104	98	202
3年生	108	121	229
4年生	138	124	262
5年生	121	116	237
6年生	101	131	232
7年生	89	79	166
8年生	68	68	136
9年生	83	64	147
合計	910	887	1797

教職員数

4月1日現在（人）

職名	人数
校長	1
副校長	1
教頭	2
教務主任	2
教諭・講師	83
養護教諭	3
栄養教諭	1
事務	3
新採指導員	5
新採後補充	2
学校管理員	2
給食配膳員	4
学校司書	3
スクールカウンセラー	3
スクールソーシャルワーカー	1
特別支援教育支援員	8
理科支援員	1
学校生活相談員	2
学校サポーター	5
AET	3
合計	135

令和6年度 学校要覧



Challenge



Creativity



Cooperation

つくば市立 学園の森義務教育学校

〒305-0816

茨城県つくば市学園の森2丁目15番地1

☎ 029(846)3115 FAX 029(856)2122

HP <https://www.tsukuba.ed.jp/~gakuennomori/>



学園の森義務教育学校 スクールモットー

「自分の可能性に挑戦し、創意をもって未来を切り開く人材に育ってほしい。人とかわり協力しながら、社会に貢献できる人材に育ってほしい。」という願いのもと、学校教育目標を定め、『挑戦・創造・協働』という言葉、学園のスクールモットーとして掲げています。

本学園では、学園生・教職員共に、このスクールモットーを合言葉にして、すべての教育活動に積極的に取り組んでいます。



「挑戦」Challenge



体育祭（7～9年）

「創造」Creativity



響森祭

「協働」Cooperation



協働的な学びの様子

9年間のつながりを意識した柔軟な教育

義務教育9年間を、前期（1～4年）・中期（5～7年）・後期（8・9年）の三つのブロックに分け、発達段階に合った教育を行うことを基本としています。また、活動内容によっては、柔軟にブロックを区切ったり組み合わせたりすることで、より効果的な異年齢の生活集団・学習集団を編成しています。



前期課程と後期課程の交流
（市総体壮行会の様子）

主な学校行事

月	行 事 名
4 月	1学期始業式、入学式、交通安全教室（1・7年）、避難訓練、授業参観、修学旅行（9年）
5 月	引渡し訓練（1～9年）、運動会（1・4年）、宿泊学習（5年）、いじめゼロウィーク、校外学習（3年）
6 月	学園生徒総会ウィーク、市総体、校外学習（2年）、宿泊学習（6年）
7 月	面談（全学年）、つくば未来塾（9年）
8 月	
9 月	いじめゼロウィーク、授業参観、市新人
10 月	1学期終業式、2学期始業式、体育祭（7～9年）、面談（6年）、校外学習（4年）、体育祭（5・6年）
11 月	校外学習（1年）、面談（9年）、運動会（2・3年）、響森祭（7～9年）、避難訓練
12 月	学園生徒会役員選挙、避難訓練、企業体験（8年）、面談（1～5・7・8年）
1 月	進級説明会（6年）、新入生説明会、面談（9年）、スキー学習（7年）
2 月	授業参観
3 月	卒業生を送る会、卒業式、修了式

